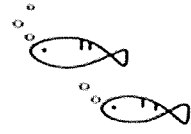


# 10月 さかなぐるーぷだよ



2022. 10. 1

(みんなでいっしょに！25ひきのきょうだい)

うんどうあそびの日のご参加くださりありがとうございました。テントの準備や片付け、新型コロナウイルス感染症の予防にもご協力いただき、感謝しています。

初めてお家の方と離れて過ごしたさくらさん。ドキドキしていることを泣いて教えてくれたり、じっとできずにテントから出てしまう姿もありましたが、他のグループのあそびが進んでいく中、お相手さんや保育者の傍で過ごすことで“だいじょうぶ”と感じて、さかなグループのあそびの時には練習通り楽しんでくれました。ばらさんは、あそびの中で自分たちがお手本になる経験をする中で自信を持ち、「ゆりさんになったらなわとびする！」「おとまりほいくにもいきたい！」と、すぐにでもゆりさんになりたい気持ちを伝えてくれました。そしてゆりさん。さかなグループのあそびの内容はゆりさんが考えてくれたものです。4月から、「ゆりさんはいつでもお手本だよ」と、お話してあそびをリードしてきたので、「自分たちは1番大きいゆりさん」という気持ちを持ってあそびを考えてくれました。さくらさんもばらさんもゆりさんも、練習のはじめの頃は自分のことで精一杯だったのですが、練習を重ねる中で、お友だちの応援をしてくれたり、小さいお友だちに声をかけてくれたり、さくらさん同士で励まし合っていたり、お友だちに対する関りから成長を感じました。

ゆりさんは最後のうんどうあそびの日でしたが、さくらさんばらさんは、また来年のうんどうあそびの日に成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています！

また、「つぎはたんぼでかくれんぼしたい！」「折り紙のかえるさんつくりたい！」など、次のあそびのアイデアも出してくれています。子ども達の声聞きながら、絵本の世界観を楽しんでいきたいと思います。



(楽しかったね！うんどうあそびの日)～ゆり～

ゆりさんは、八瀬のお泊り保育で魔女さんからもらったまほうのつえを使って色々なあそびをしてきました。また、去年のゆりさんに憧れて、個人縄跳びで10回飛ぶことも見てもらいたいと練習してきて、うんどうあそびの日は、「お父さん・お母さんにかっこいいところを見てもらいたい」という言葉が子ども達から出ました。実際、浅原公園でうんどうあそびの日の練習が始まると自分のすることが終わるとお友達と話したり、砂遊びをする姿があり、リズムに合わせてつえを飛ぶ時にも、お友達とリズムが合わせられない子どももいました。子ども達に「かっこいいところを見てもらうのは、どうすることなのかな？」と尋ねると、「自分が終わってもしゃべらない・砂遊びをしない」という意見が出ました。ゆりさんみんなでうんどうあそびの日をするのは最後になることやみんなで心を合わせてかっこいいゆりさんを見てもらおうと話しました。雨天の為、浅原公園で練習できないときや夕方も、ホールで何度もゆりのあそびを練習しました。リズムに合わせてつえを飛ぶことができるようになったお友達は、「上手に飛べるようになってきた」と嬉しそうに話してくれました。縄跳びが苦手なお友達はお父さん・お母さんと一緒に練習してもらうことで飛ぶ回数が増えてきました。うんどうあそびの日を通して、自分だけが頑張るのではなく、お友達と心を合わせて取り組むことやお友達の頑張っている姿も一緒に応援していくことでゆりさんみんなで出来たという達成感を感じてくれたと思います。また、苦手なこともお父さん・お母さんが一緒に取り組んでもらい、練習することでできるようになることを実感し、自信につながれたと思います。

(お相手さんがかわるよ)

今月は、ばらさんのお友だちのグループがえをします。ばらさんがグループを変わることで、さくら・ゆりのお相手さんも変わるところがあります。今まで一緒に過ごしてきたお相手さんが変わることで、少し寂しい思いをするお友だちもいるかと思いますが、子どもたちの気持ちの変化を見ながら新しい環境、それぞれのグループのあそびを楽しめるように関わっていきたいと思っています。



(お願い)

- 散歩に出かける機会が多くなります。登園は、9:00までに朝の準備が終わるようにお願いします。
- 涼くなっていますが、部屋の中では体を動かすことも多く体温が上がりますので、厚着にならないようにしてください。ズボンは、半ズボンをお願いします。(裏起毛やフリースの服やズボンは、さけてください。)

